



「宝物」 ～修学旅行的活動を～

トピックで紹介していますが、7月6日、高等部3年生の3名が修学旅行に相当する体験学習（修学旅行的活動）を行いました。昨年度の小学部同様に、生徒の実態や感染症対策を踏まえ、病院内で行いました。

テーマは「東北祭りに行こう」です。秋田の竿燈、山形の花笠、仙台七夕の祭りの様子を大画面で視聴しながら、実際に竿燈をあげたり、太鼓を叩いたり、花笠をかぶって踊ったりしました。そして、出店で射的を楽しんだり、デザートを食べたりしました。

出発式では、保護者の方々からサプライズでメッセージが届きました。病院の医師や療育指導員の方々も足を止め、「行ってらっしゃい」と声を掛けてくれました。どの活動の場面を切り取っても、思い出深い学習となったように感じます。

本学習に向けては、今年度から高等部3名のグループ学習の時間を設定し、事前学習を積み重ねました。東北の様々なお祭りについて学びながら当日を迎えました。この3名での学習は今後も続きます。卒業まで、さらに多くの学びを積み重ねてほしいと思います。

本学習の実施にあたっては、昨年度同様に病棟からたくさんのご協力をいただきました。会場や物品の借用、担当看護師さんの同行、当日に向けた体調管理等、教育活動への理解の基、心温かい支援をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

とりわけ体調管理については、本学習の説明や協力依頼等を行った病棟との連絡会の後、毎日の病棟スタッフとの情報共有を通して一緒に行ってきました。

このような連携は、病院内訪問教育における宝物だな、とつくづく思います。そしてこれは、本分教室の前身である本荘養護学校病院内教育部（国立療養所秋田病院）時代から続く宝物であり、丁寧に磨かれて今に至ります。

この宝物をこれからも大切に、「いのち かがやく 道川」で在り続けたいと思います。



【担当看護師さんが
同行してくれました】



【出店（射的）を楽しみました】



【花笠踊りのバーチャル体験】



【事前学習】